

JICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業 地域金融機関連携案件」への参画について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の委託事業である2021年度第二回「中小企業・SDGsビジネス支援事業」への取引先の案件申請を支援し「地域金融機関連携案件」として当行が参画する内容で採択されたことから、その内容についてお知らせいたします。

記

1. 事業概要（予定）

案 件 名	介護人材の育成から就労支援までを一元的に管理運用するシステム構築の案件化調査
採 択 法 人	さくら事業協同組合（宮城県仙台市、理事長 鎌田 厚司）
対 象 国 （ 地 域 ）	ベトナム国（ハイズオン省、ナムディン省）
事 業 概 要	高齢社会の到来が見込まれるベトナムにおいて、現地教育機関と連携した日本式介護教育を実施するとともに、宮城県内介護施設での実習機会を提供することで、質の高いベトナム人介護人材の育成を行う。また、宮城県での技能実習を修了した人材のベトナムでの就労支援を併せて実施し、日越の人材還流を促すとともに、ベトナムと宮城県の共通課題である介護人材不足の解決を目指す。
事業費総額	約3,000万円

2. 地域金融機関連携案件とは

途上国の課題を解決するSDGsビジネスの実現性向上と、地域活性化に一層資することを目的に、提案法人と地域金融機関が連携して海外展開を検討・調査する案件。

（関連するSDGs）



**SDGs (Sustainable Development Goals)**  
2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。  
七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。

以上

